

放課後子供教室・南部地区

鴻巣市・常光小学校放課後子ども教室				
活動場所	教室、特別教室、体育館	参加者数	登録児童数	35人
参加対象	1～6学年		1日平均参加者数	30人
連携団体	—			
プログラム例	お囃子・昔遊び、将棋・オセロ、工作、絵手紙、草木染、科学、習字、プラバン、ラミネート、スポーツ（縄跳び、ボール遊び等）、防災教室、市の出前講座（カローリング、鴻巣の歴史）、学びの時間（宿題、自主学習等）			
特徴的な活動内容と成果	<p>本教室は全学年の子どもを対象とし、放課後の子どもの安心・安全な居場所作りを目指し実施している。子どもたちが心豊かに健やかに育まれるよう地域の方々の参画を得て、様々な体験活動を行っている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策のため、スタッフや子どもたちは検温、手洗い、消毒、マスクの着用などを徹底し、三密にならないよう活動回数・活動人数、活動内容等を考慮し、スタッフの方々の協力のもと、児童が笑顔で楽しく取り組めるよう配慮している。</p> <p>地域の方々と和やかに交流し、異学年の子供たちとも仲良く活動に取組み、充実した時間を過ごしている。特にお囃子の活動については、地域の行事等にも参加し伝統文化の継承に繋がっている。</p> <p>保護者からは子どもたちが毎回楽しみに参加し、活動について家庭内で話題に上がり、親子のコミュニケーションが図られている等好評である。子どもたちの笑顔は宝であり、楽しい居場所作りが図れた。</p>			
				
	絵手紙教室		お囃子教室	

鴻巣市基本情報			
運営委員会名	鴻巣市放課後子ども教室推進事業運営委員会		
構成役職 (合計24名)	実施校の校長代表者4名、実施校のPTA代表者1名、放課後子ども教室コーディネーター15名、放課後児童クラブ代表者2名、市関係課職員2名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室の実態把握について ・事業計画、安全管理、広報活動等について ・事業実施後の検証及び評価について等 		
放課後子供教室実施数	16教室 児童クラブとの連携情報 一体型 8教室 連携型 6教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 23箇所		
対象学校区	16校	平均開催日数	27日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	16人
登録児童数	706人	ボランティア数	287人
平均参加児童数	433人	1日当たりの平均スタッフ数	10人/教室

放課後子供教室・南部地区

上尾市・大石公民館放課後子供教室

活動場所	上尾市立大石公民館	参加者数	登録児童数	29人
参加対象	1～6学年		1日平均参加者数	27人
連携団体	公民館活動サークル、上尾市まなびすと指導者バンク等			
プログラム例	工作、スポーツ、季節の行事等			
特徴的な活動内容と成果	<p>本教室は、放課後の子どもの安心・安全な活動場所を確保し、公民館を活動場所とする地域の大人たちの協力を得て、様々な学習や体験活動の取り組みを実施することにより、大人や子ども同士の交流を育み、地域社会の中での生涯学習環境作りを推進するために開催している。</p> <p>大石公民館放課後子供教室では、火曜教室と木曜教室の2教室を実施しており、様々な経験・技術をもつ地域の指導者や公民館活動サークルを講師とした特別教室を実施する等、普段できないような経験や体験を行いながら、地域の大人や異学年の子どもたちと交流を図ることができた。</p>			



〔スポーツタイム「吹矢」〕



〔石っこ工房「ハロウィン制作」〕

上尾市基本情報

運営委員会名	上尾市放課後子供教室運営委員会		
構成役職 (合計 16名)	公民館運営審議会委員 2名、小学校長 1名、放課後子供教室コーディネーター 2名、放課後子供教室教育活動サポーター 2名。公民館長 6名、生涯学習課職員 3名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度事業の活動報告 ・安全管理 ・地域協力者の確保 ・翌年度事業の活動計画（予定） 		
放課後子供教室実施数	2教室 児童クラブとの連携情報 一体型 0教室 連携型 2教室（各2クラス） 参考：放課後児童クラブ箇所数 40箇所		
対象学校区	2校	平均開催日数	56日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	2人
登録児童数	57人	ボランティア数	21人
平均参加児童数	27人	1日当たりの平均スタッフ数	3人/教室

放課後子供教室・南部地区

草加市・稲荷小放課後子ども教室《わくわく》				
活動場所	図工室・家庭科室・校庭	参加者数	登録児童数	74人
参加対象	1～6学年		1日平均参加者数	27人
連携団体	—			
プログラム例	宿題・ボール遊び・昔遊び・お絵かき・ボードゲーム等			
特徴的な活動内容と成果	<p>開催に当たり、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の取組として、参加児童を学年ごとに2グループに分け、週ごとに交互の参加としている。</p> <p>児童が同感染症対策に慣れてきたこともあり、混乱もなく子ども教室の開催を行う事ができた。</p> <p>夏は、熱中症を防ぐため、外遊びの時間を短縮する等の対応を行った。</p> <p>6月から教室開催を行うことができたため、開催回数が増加し、児童の放課後の居場所としての機能を取り戻しつつあった。</p>			



〔外遊び（縄跳び）〕



〔ソーシャルディスタンスをとり同じ方向を向いて宿題〕

草加市基本情報			
運営委員会名	草加市放課後子ども教室推進事業運営委員会		
構成役職 (合計14名)	放課後子ども教室代表者3名、放課後児童クラブ代表者2名、社会教育関係代表者1名、児童福祉関係代表者1名、草加市PTA連合会代表者1名、地域住民代表者3名、学校関係代表者1名、市職員2名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画の策定、安全管理方策の調査及び検討 ・広報活動方策の調査及び検討 ・ボランティア等地域協力者の人材確保方策の調査及び検討 ・事業実施後の検証・評価、放課後児童健全育成事業との連携の検討 ・その他事業の運営に関し必要な事項 		
放課後子供教室実施数	21教室 児童クラブとの連携情報 一体型 20教室 連携型 1教室 参考：放課後児童クラブ個所数 36箇所		
対象学校区	21校	平均開催日数	15日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	15人
登録児童数	1668人	ボランティア数	191人
平均参加児童数	622人	1日当たりの平均スタッフ数	7人/教室

放課後子供教室・南部地区

蕨市・放課後子ども教室

活動場所	教室、体育館、校庭	参加者数	登録児童数	93人
参加対象	1～6学年		1日平均参加者数	40人
連携団体	—			
プログラム例	宿題、各種工作教室、農業体験、自由遊び等			
特徴的な活動内容と成果	<p>本教室では季節に応じ様々な活動を行っている。今年度はコロナウイルス感染拡大防止対策を行い開催。主な対策としては、活動人数の制限（全参加者を2班に分け隔週開催）をするなど密にならないよう対策。</p> <p>内容と成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・じゃがいも掘りや大根掘りなどの農業体験を通して自分が食べているものがどのようにしてできるか理解を深めることが出来た。 ・水遊びや卓球等の自由遊びを行い異学年間でも交流を深めることが出来た。 ・粘土やペットボトルを使って飾りやヨーヨーを作ったりなど、子どもたちに様々な体験をする機会を与えることが出来た。 			



〔じゃがいも掘り〕



〔水遊び〕

蕨市（町）基本情報

運営委員会名	蕨市放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計15名)	開設校の校長の代表者1名、各校区ごとの実行委員会の代表者7名、民生・児童委員の代表者1名、スポーツ又は文化関係団体の代表者2名、留守家庭児童指導室関係者1名、社会教育委員の代表者1名、PTAの代表者1名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・実施状況について ・事業計画の策定 ・その他放課後子ども教室の運営に関し必要な事項 		
放課後子供教室実施数	7教室（平年時） 児童クラブとの連携情報 一体型 7教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 18箇所 （うち民間2箇所）		
対象学校区	7校	平均開催日数	30日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	7人
登録児童数	398人	ボランティア数	18人
平均参加児童数	55人	1日当たりの平均スタッフ数	13人/教室

放課後子供教室・南部地区

志木市・放課後志木っ子タイム（しきに）				
活動場所	専用施設、道徳室、 体育館、校庭	参加者数	登録児童数	313人
参加対象	1～6学年		1日平均 参加者数	34人
連携団体	株式会社明日葉 あそびのタネ、いきいきサロン、リーフスポーツ			
プログラム例	宿題、工作、あそびの先生（あそび・スポーツ指導）、避難訓練 等			
特徴的な活動 内容と成果	<p>放課後志木っ子タイムしきに（志木二小）では、安心安全な放課後の居場所として、放課後子ども教室・学童保育クラブとの一体型の事業を共通のプログラムを通じて、異学年同士の交流を深めている。</p> <p>現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、利用制限が設けられており、密にならないように対策を行った上で、プログラムを実施している。</p> <p>毎月、季節や伝統文化に関するテーマに基づき、工作イベントを実施している。11月には、勤労感謝の日に合わせて、家族の似顔絵を描いたコルクコースターを作り、お手紙と共に家族にプレゼントした。保護者から「とても嬉しくて、使わずに飾っています」と喜びの声が多数寄せられた。また、学校の先生、給食員、事務員、スクールガード、地域の方々にも日ごろの感謝を込めてプレゼントするなど、地域との結びつきも大事にしている。</p>			



リーフスポーツによる
バルーンあそび体験



地域の方にご協力いただいた
七夕用の笹取り

志木市 基本情報			
運営委員会名	志木市放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計10名)	行政関係者、学校関係者、学童保育クラブ関係者、社会教育関係者、児童福祉関係者、PTA関係者、スポーツ・レクリエーション団体関係者、コミュニティ団体関係者、ボランティア団体関係者、小学校区内の地域住民及び委員会が特に必要と認めた者		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室全校の運営平準化 ・活動プログラムの企画、安全管理 ・広報活動方策 ・地域住民との多世代交流の継続 ・協力者の人材確保 		
放課後子供教室 実施数	8教室 児童クラブとの連携情報 一体型 8教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 8箇所		
対象学校区	8校	平均開催日数	241日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	8人
登録児童数	2,511人	ボランティア数	456人 (宗岡地区 ちいばト隊)
1日1校あたりの 平均参加児童数	28人	1日あたりの 平均スタッフ数	4人/ 1教室

放課後子供教室・南部地区

和光市・第五小学校わこうっこクラブ（子ども教室）

活動場所	施設、教室、校庭	参加者数	登録児童数	320人
参加対象	1～6学年		1日平均参加者数	57人
連携団体	市内NPO法人、近隣農園、地区社会福祉協議会、婦人会、地区企業等			
プログラム例	宿題、ボール遊び、ダンス、昔遊び、科学教室、工作教室等			
特徴的な活動内容と成果	<p>本教室は、子供たちが教育活動サポーターの見守りのもと、放課後を安全に過ごし、様々な体験活動や幅広い人々との交流を通じて、自主性・協調性をはぐくむことを目指し開催している。第五小学校わこうっこクラブは、独立型施設を有しているため、長期休業中だけでなく、学校の振替休業日にも開室し、保護者からも好評である。</p> <p>同じ施設を使用しているさつきのご学童クラブとの日常的な交流だけでなく、学校敷地内にある南学童クラブとの交流、隣接する児童館を活用した子供たちの活動場所拡大を図ってきた。さつきのご学童クラブ在所児童は、日常的にわこうっこクラブ主催のプログラムにも参加することができる。また、月に2回、他学童クラブ在所児童も参加するイベント型事業としてスポーツや文化、芸術にふれる子ども教室を開催している。連携団体の支援により、季節に応じたプログラムも提供している。学童クラブを卒所した児童が、わこうっこクラブを利用する姿が見られるようになり、一体型運営の成果が見られてきた。保護者評価も高い。</p>			



〔学童クラブと合同 夏まつり〕



〔学童クラブと合同 こま回し〕

和光市基本情報

運営委員会名	和光市子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計18名)	各小学校実行委員9名 和光市小学校長会代表者1名 和光市小学校教頭会代表者1名 学童クラブ代表3名 コーディネーター代表3名 生涯学習課長、事務局担当職員		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画の策定 ・事業の検証及び評価 ・プログラムの企画 ・次年度の活動予定 		
放課後子供教室 実施数	9教室 児童クラブとの連携情報 一体型 2教室 連携型 7教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 15箇所		
対象学校区	9校	平均開催日数	224日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	9人
登録児童数	2020人	ボランティア数	130人
平均参加児童数	205人	1日当たりの平均スタッフ数	4.2人/教室

放課後子供教室・南部地区

新座市・栗小ココフレンド

活動場所	教室・図書室・体育館・校庭	参加者数	登録児童数	177人
参加対象	1～6学年		1日平均参加者数	24人
連携団体	民間業者・放課後児童保育室・町内会			
プログラム例	宿題・読み聞かせ・ミニ教室（工作・折り紙）・ゲーム・ボール遊び等			
特徴的な活動内容と成果	<p>今年度で開室8年目を迎えた。開室当初から活動しているスタッフも多く、地域の方々との協力・協働によって成り立っている。前半の学習の時間では、宿題を中心に各種プリントへの取組など、自学自習のスタイルが定着してきている。また、1年生向けにスタッフによる読み聞かせを実施している。後半の自由時間では、室内ではスタッフ手作りの遊具（マンカラ・オセロ・タングラム・お手玉・すごろくなど）で遊んだり、スタッフの経験や特技をいかした30分程度で完成できるミニ教室（折り紙工作・ぶんぶんごま・ドラえもんカードなど）を開いたりしている。体育館や校庭では、フラフープ・縄跳び・サッカーや鬼ごっこ・固定施設での遊びが人気である。</p> <p>ココフレンドの約束は、学校の学習や生活のまじりに準じ、スタッフ向けの内規事項をもとに、共通理解を図りながら安全で楽しい居場所づくりに努めている。児童・保護者のアンケートからも「宿題があつという間にできる。友だちがたくさんできる。」「他の学年やスタッフの方と交流ができるのは子どもにとって良い経験になる。ありがたい。」といった声をいただいている。</p>			



〔ガードをつけての勉強タイム〕



〔講師を招いてのダンス教室〕

新座市基本情報

運営委員会名	新座市子どもの放課後居場所づくり事業運営委員会		
構成役職 (合計17名)	教育長、教育総務部長、小学校長、PTA代表者、町内会連合会会長、民生・児童委員協議会理事、社会教育委員、放課後児童保育室支援員代表者、実行委員会委員長、コーディネーター代表者、子ども支援課長、保育課長、教育支援課長、生涯学習スポーツ課長、受託事業者代表者		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の運営状況について ・アンケートの実施及び結果について ・事業に関する要綱、マニュアル等の改正について 		
放課後子供教室実施数	17教室 児童クラブとの連携情報 一体型 17教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 17箇所		
対象学校区	17校	平均開催日数	223日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	52人
登録児童数	3252人	ボランティア数	233人
平均参加児童数	369人	1日当たりの平均スタッフ数	6人/教室

放課後子供教室・南部地区

桶川市・桶川西小学校放課後子供教室

活動場所	桶川西小学校内	参加者数	登録児童数	23人
参加対象	1～6学年		1日平均参加者数	13人
連携団体	-			
プログラム例	学習の時間（宿題、自主学習、避難訓練、ヒヤリハット） ふれあいの時間（工作、ヨーヨー作り、ハンドベル演奏など）			
特徴的な活動内容と成果	<p>桶川市は、全学年の子供を対象として、放課後、小学校の一部をお借りして、子供たちの安全・安心な活動拠点（居場所）をつくることを目的とし、実施しています。子供たちが地域社会の中で心豊かに健やかに育まれるよう、地域の方々の参画を得て、交流活動や様々な体験・学習活動などを進めています。</p> <p>本教室では、避難訓練やヒヤリハットの学習などに力を入れている。モニターなどを使いながら、どう動けばいいのかを学習している。体験活動の内容としては、工作・ヨーヨー作り・ハンドベル演奏・外遊び・ちぎり絵・ペン立て作り・花の鉢植え・ボール投げ・バルーンアート・影絵で遊ぼう・プラ版等多岐に渡る。</p>			



〔避難訓練〕



〔紙飛行機飛ばし〕

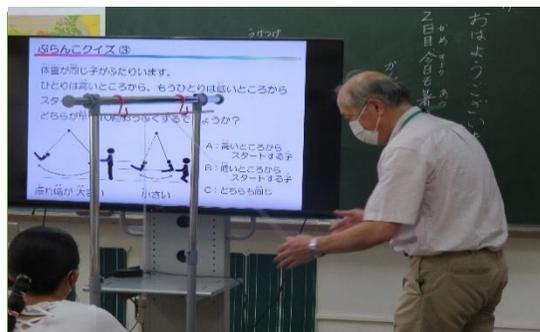
桶川市基本情報

運営委員会名	桶川市放課後子供教室事業運営委員会		
構成役職 (合計20名)	学校長（1名）、各小学校PTA役員（7名）、小学校区を活動圏域とする地域の方（1名）、各小学校コーディネーター（7名）、社会教育委員（1名）、行政関係者（3名）		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画の策定 ・事業実施後の検証及び評価等 		
放課後子供教室実施数	7教室 児童クラブとの連携情報 一体型 7教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 7箇所		
対象学校区	7校	平均開催日数	120日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	17人
登録児童数	253人	ボランティア数	約306人
平均参加児童数	80人	1日当たりの平均スタッフ数	5人/教室

放課後子供教室・南部地区

朝霞市・夏休み放課後子ども教室

活動場所	教室、体育館	参加者数	登録児童数	120人
参加対象	1～6学年		1日平均参加者数	14.5人
連携団体	科学読物研究会、NPO法人朝霞ぐらんぱの会、かすみ切り絵同好会			
プログラム例	科学あそび教室、工作教室、切り絵教室			
特徴的な活動内容と成果	<p>本教室は、「夏休み期間中にも子どもの居場所を」という市民の要望を受け、例年9月から実施している、土曜日の教育支援に加え、夏休み期間中の平日の3日間を利用して、夏休み放課後子ども教室を各教室の定員を20名に限定し、感染防止対策を行った上で、今年度から新たに実施した。</p> <p>教室内容としては、各校とも3日間のうち、2日間は夏休みの宿題や課題等を行い、残りの1日は、土曜日の教育支援で人気のある講師によるプログラムを実施した。</p> <p>参加者からは、「学校では習わないことを教えてくれて、科学に興味を持つようになった」、「また参加したい」等の感想をいただいた。</p> <p>コロナ禍で制限された中での実施でしたが、他校の児童や異学年交流の貴重な機会となった。</p>			



〔科学あそび教室〕



〔切り絵教室〕

朝霞市基本情報

運営委員会名	朝霞市放課後子ども教室実行委員会		
構成役職 (合計10名)	<ul style="list-style-type: none"> ・朝霞市小学校長（6名） ・朝霞市PTA連合会（1名） ・朝霞市子ども連合会（1名） ・朝霞市青少年育成市民会議（1名） ・朝霞市教育委員会生涯学習・スポーツ課（1名） 		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の実施報告及び評価 ・今年度の実施予定内容 ・年間スケジュール 等 		
放課後子供教室 実施数	6教室 児童クラブとの連携情報 一体型 0教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 10箇所		
対象学校区	6校	平均開催日数	3日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	3人
登録児童数	120人	ボランティア数	36人
平均参加児童数	83.5人	1日当たりの平均スタッフ数	4人/教室

放課後子供教室・南部地区

北本市・西小放課後子ども教室

活動場所	教室、体育館、校庭	参加者数	登録児童数	50人
参加対象	1～6学年		1日平均参加者数	24人
連携団体	地域サークル活動団体			
プログラム例	・学びの時間（宿題、自主学習、プリント学習）・ふれあい体験活動（ねぶた制作、折紙、卓球、バドミントン、読み聞かせ、けん玉等）			
特徴的な活動内容と成果	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達全員が「5つの約束」を守り、仲間と共に学び／体験／交流しながら、「安心、安全、楽しい放課後」を目指している。 西小教室の特徴：北本市中心に位置し市内で最多の児童が参加し校内地域活動室2室で活動している。 トマちゃんねぶた制作：例年、地元観光協会の協力により「トマちゃんねぶた」を北本まつり宵まつりにあわせて制作している。今年度も1学期より全員が着手（※1）、予定通り北本駅構内に展示（※2）し、好評を得た。 避難訓練：毎年10月に子ども教室の避難訓練を実施している。今年度は10月21日、晴天の下、児童20人／スタッフ13名が参加し実施した。  <p><成果> 子どもたちにとって、異学年の友達と学んだり遊んだり、また、学校の先生以外の大人と交流したりするなど、放課後の大切な居場所となっている。</p>			



〔※1：トマちゃんねぶた制作風景〕



〔※2：トマちゃんねぶた北本駅展示〕

北本市基本情報

運営委員会名	放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計15名)	放課後子ども教室代表7名、放課後児童クラブ関係者1名、校長会代表2名、PTA代表1名、コミュニティ協議会代表1名、民生委員・児童委員1名、学校教育課長、子育て支援課長		
検討内容	事業計画の策定 ・安全管理方策 ・広報活動方策 ・次年度の活動計画等		
放課後子供教室実施数	7教室 児童クラブとの連携情報 一体型 7教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 11箇所		
対象学校区	7校	平均開催日数	101日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	17人
登録児童数	248人	ボランティア数	133人
平均参加児童数	105人	1日当たりの平均スタッフ数	5人/教室

放課後子供教室・西部地区

飯能市・おくむさし わくわくルーム

活動場所	体育館、教室、校庭	参加者数	登録児童数	48人
参加対象	1～6学年		1日平均参加者数	38人
連携団体	ソニー・ミュージックエンタテインメント、名栗げんきプラザ、駿河台大学、飯能市各課・館			
プログラム例	ミュージカルレッスン、プログラミング、コーディネーショントレーニング、算数・科学を楽しむ工作、ホッケー、集団遊び 等			
特徴的な活動内容と成果	<p>本教室のある学校は山間地に位置している地理的要因から、下校後に同世代の友達と過ごすことが難しい子どもたちがいる。このため、学び・運動・交流という3つの活動を基本に、民間の教育機関や大学、地域住民の皆さんのご支援をいただきながら、子どもたちがリラックスして楽しく活動できる内容を実施している。</p> <p>ソニー・ミュージックエンタテインメントとの連携では、継続的なミュージカルレッスンとともに、今年度はプログラミングと音楽をコラボレーションした活動も取り入れた。</p> <p>算数・科学や英語や絵を楽しむ活動では、地域の方の専門性を生かしてそれぞれの活動を展開している。</p> <p>また、市立図書館と連携し本を楽しむ活動や教育委員会文化財担当と連携した埋蔵文化財に親しむ活動を実施している。今年度はスポーツ課と連携したホッケーを楽しむ活動も取り入れた。</p> <p>保護者からは、様々な体験ができることや興味を持って意欲的に参加している子どもの様子に、好意的な意見をいただいている。</p>			



〔絵を楽しもう〕



〔ホッケーを楽しもう〕

飯能市基本情報

運営委員会名	奥武蔵小学校放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計8名)	校長1名、児童クラブ1名、PTA1名 社会教育関係者1名(内兼務1名) 教室コーディネーター1名 教育活動指導員3名 生涯学習課職員2名(内兼務1名)		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画の策定 ・事業の検証及び評価 ・プログラムの企画 ・次年度の活動予定 		
放課後子供教室 実施数	1教室 児童クラブとの連携情報 一体型 1教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 20箇所		
対象学校区	1校	平均開催日数	26日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	1人
登録児童数	48人	ボランティア数	4人
平均参加児童数	38人	1日当たりの平均スタッフ数	5人/教室

放課後子供教室・西部地区

東松山市・唐子小放課後子ども教室 すまいる からこ			
活動場所	教室・体育館等	参加者数	登録児童数 10人
参加対象	1～3学年		1日平均参加者数 10人
連携団体	外部講師（市に登録された方、グループ）		
プログラム例	宿題、工作、室内ゲーム、運動遊び 等		
特徴的な活動内容と成果	<p>安全対策を充分にした上で、児童が幅広い分野の体験を通し、誰もが元気で仲よく楽しく成長して欲しいとの願いから、多彩な内容を計画的に行っている。</p> <p>年度初めは、コミュニケーションアートを行い、みんなで作り上げる楽しさを体験させている。手作り教室や工作教室は、例えばエコバックや七夕飾りのように、季節感やエコにも配慮し、材料を無駄にせず、長く使えるようなもの。さらに工作は構造的な事にも興味をもつように牛乳パックでの自動車やバツタなど、題材を工夫している。</p> <p>科学教室では、300年程前にオランダで作られた顕微鏡での植物観察、望遠鏡観察、科学パズルや天体や星の話などである。</p> <p>読み聞かせも、今年度から外国の絵本の読み聞かせの後に感じたことを絵に描く活動も実施している。</p> <p>運動も一学期の基礎体操から、早歩き、ボール遊び、縄跳び等と段階的に行い、運動好きな児童はさらに上達し、得意でない種目は、個々に声をかけ、運動嫌いな児童を作らないよう配慮している。</p> <p>さらに、地域の方においでいただき交流も図っている。</p> <p>児童は、様々な活動に興味をもち、仲よく笑顔で取り組んでいる。さらに、興味・関心の幅と奥行きを広げるとともに、何にでも果敢に取り組めるようになることを願っている。今後も皆で仲よく協力し合い楽しく過ごせることを願い、スタッフ一同も協力し、努力を続けていきたい。</p>		



〔埼玉郷土かるた〕



〔300年前にオランダで作られた顕微鏡〕

東松山市 基本情報			
運営委員会名	東松山市放課後子ども教室連絡会議		
構成役職 (合計37名)	放課後子ども教室コーディネーター11名、小学校長11名、PTA会長11名、放課後児童クラブ事務局長、教育委員会（子ども家庭部部長、子ども家庭部次長、子育て支援課長）		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室の検証について ・放課後子ども教室の活動内容について ・次年度の実施内容について 		
放課後子供教室 実施数	11教室 児童クラブとの連携情報 一体型 0教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 19箇所		
対象学校区	11校	平均開催日数	52日
主な対象学年	1～3学年 (1校のみ 1～6年生)	コーディネーター数	11人
登録児童数	226人	ボランティア数	68人
平均参加児童数	138人	1日当たりの 平均スタッフ数	5人/教室

放課後子供教室・西部地区

狭山市・東っ子放課後教室

活動場所	教室、体育館、校庭	参加者数	登録児童数	86人
参加対象	1～6学年		1日平均参加者数	79人
連携団体	—			
プログラム例	全体遊び、自由遊び（ボール遊び、凧揚げ等）、宿題 等			
特徴的な活動内容と成果	<p>狭山市地域子ども教室は、子供たちに安心・安全な活動拠点を提供し、多様な活動や交流の機会を与えることにより、地域社会の中で子どもたちが健やかに育つ環境を醸成するとともに地域の教育力の向上に資することを目的としている。</p> <p>当教室は令和元年度に新規開設をしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により活動が困難となった。令和3年度は十分な感染対策等を事前にスタッフや関係者で打ち合わせを行い、年3回実施することができた。今年度は奇数学年と偶数学年を隔月で分散開催を原則として、それぞれ4回の開催を目標に実施している。</p> <p>実施内容は主に全体遊びと自由遊びを行い、全体遊びでは〇×ゲーム、自由遊びは、体育館と校庭を使って、ボードゲーム、巨大ビーチボール遊び、バスケットボール、バドミントン、ボール遊び、凧揚げ等を行っている。また、体育館では宿題を行えるスペースを設けている。</p>			



〔桜の木の下で枝遊び〕



〔凧あげ遊び〕

狭山市基本情報

運営委員会名	狭山市地域子ども教室連絡会 T i e に委託		
構成役職 (合計13名)	各教室の代表が理事となり、理事会を組織 狭山市地域子ども教室連絡会 T i e を運営している。 代表理事1名・副代表理事2名、理事8名、 監事2名の他、相談役3名、事務員4名が運営委員会を組織 コーディネーター2名、社会教育課職員		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ高齢化による人材確保 ・教室同士の情報交換 ・スタッフへの研修・運営体制の充実 ・地域への情報発信 ・コーディネーターの育成 ・新教室の開設 		
放課後子供教室 実施数	11教室（体験教室2、放課後9） 児童クラブとの連携情報 一体型 9教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 15箇所		
対象学校区	13校	平均開催日数	月1日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	2人
登録児童数	741人	ボランティア数	195人
平均参加児童数	各教室30人	1日当たりの平均スタッフ数	6.7人/教室

放課後子供教室・西部地区

わく☆どき！とよおか

活動場所	豊岡小学校南会議室	参加者数	登録児童数	12人
参加対象	1～6学年		1日平均参加者数	12人
連携団体	NPO法人あそびあ～とこども劇場入間、入間市華道連盟 他			
プログラム例	マリンバとコンサート			
特徴的な活動内容と成果	<p>年間を通して、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、多岐にわたる体験活動を提供することができた。参加者の保護者からは、「普段家庭には体験できないことにチャレンジできる」「同学年ではない子どもたちと一緒に体験でき、遊びの幅が広がった」などの声があった。</p>			



〔マリンバコンサート①〕



〔マリンバコンサート②〕

入間市 基本情報

運営委員会名	入間市放課後子ども教室事業運営協議会		
構成役職 (合計16名)	<ul style="list-style-type: none"> ・入間市立小学校の児童の保護者代表2名 ・地域住民により組織する団体の代表者3名 ・学校教育及び社会教育の関係者4名 ・市内在住者から公募で3名 ・知識経験者3名 ・事務局：青少年課 		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画の策定に関すること ・安全管理方策に関すること ・広報活動方策に関すること ・地域協力者の人材確保方策に関すること ・実施プログラムの企画に関すること 等 		
放課後子供教室 実施数	<p>16教室 児童クラブとの連携情報 一体型 15教室 連携型 1教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 16箇所</p>		
対象学校区	16校	平均開催日数	39日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	8人
登録児童数	1722人	ボランティア数	82人
平均参加児童数	574人	1日当たりの平均スタッフ数	3人/教室

放課後子供教室・西部地区

富士見市・わくわくクレインキッズ

活動場所	校庭、体育館、図書室	参加者数	登録児童数	178人
参加対象	1・2学年		1日平均参加者数	108人
連携団体	放課後児童クラブ、PTA、公民館			
プログラム例	Tバッティング、ドッジボール、季節の工作等			
特徴的な活動内容と成果	<p>子どもたちの安心安全な居場所づくりと、異年齢・異世代間交流による児童の健全育成を目的として実施している。</p> <p>放課後児童クラブと連携して開催しており、活動の際には児童クラブの先生方に季節の工作教室コーナーを用意していただいている。</p> <p>工作教室は毎回子どもたちに大好評で、多くの子どもたちが季節の工作教室を楽しんでいる。</p> <p>校庭ではTバッティングやドッジボールなど、スポーツコーナーを用意している。地域の方や児童クラブの先生方にも一緒に遊んでいただいております。子どもたちは毎回元気に身体を動かしている。</p>			



〔七夕飾りをつくろう！〕



〔みんなでTバッティング〕

富士見市基本情報

運営委員会名	富士見市地域子ども教室連絡協議会		
構成役職 (合計34名)	各教室企画運営員23名、校長会2名、放課後児童クラブ職員1名、児童館職員3名、公民館職員4名、交流センター職員1名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各教室間の情報共有 ・共通課題とその解決策について 		
放課後子供教室 実施数	8教室 児童クラブとの連携情報 一体型 8教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 25箇所		
対象学校区	8校	平均開催日数	4日
主な対象学年	1～6学年 低学年	コーディネーター数	10人
登録児童数	3278人	ボランティア数	46人
平均参加児童数	668人	1日当たりの平均スタッフ数	12人/教室

放課後子供教室・西部地区

鶴ヶ島市・ふじみ子どもサロン

活動場所	富士見市民センター	参加者数	登録児童数	40人
参加対象	1～6学年		1日平均参加者数	8人
連携団体	特定非営利活動法人こっこの会、広域おやこ劇場ひき北いるま			
プログラム例	宿題、プリント学習、工作、手芸、ボードゲーム、昔遊び ほか			
特徴的な活動内容と成果	<p>ふじみ子どもサロンは、内容を分けて、毎週月曜日の放課後に子ども達の安心・安全な居場所づくりとして実施している「ふじみ子どもサロン」と、毎月1回休日に学習支援を目的とした自習室「学びっ子広場」の2つを実施している。いずれも地域の大人がスタッフに携わり、参加する子ども達の自主性を大切にしながら運営している。</p> <p>子ども達は思い思いの過ごし方をしている、学習のほかにも、遊びを通じて学校とは違う異年齢の交流も見られる。また、地域の大人が声掛けや見守りをする事で、低学年の保護者からは安心して参加できるという声を聞いている。</p> <p>スタッフは、毎回終了後に子どもの様子や支援の方法などについての意見交換を行っている。</p> <p>なお、コロナ禍のため、月曜日の「ふじみ子どもサロン」は現在、人数を減らして実施している。</p>			



〔ふじみ子どもサロンの様子〕



〔みんなでカードゲーム〕

鶴ヶ島市基本情報

運営委員会名	鶴ヶ島市放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計10名)	放課後子ども教室代表3名、放課後児童クラブ関係者1名、校長代表1名、PTA代表1名、子ども・地域に関する活動関係者4名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室の概況について ・放課後子ども教室推進事業の実施状況 ・放課後子ども教室推進のための人材確保・連携方策 		
放課後子供教室実施数	27教室 児童クラブとの連携情報 一体型 15教室 連携型 12教室 参考：放課後児童クラブ箇所数27箇所		
対象学校区	8校	平均開催日数	43日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	27人
登録児童数	1146人	ボランティア数	144人
平均参加児童数	39人	1日当たりの平均スタッフ数	5人/教室

放課後子供教室・西部地区

日高市・かえでっ子アフターすく～る

活動場所	体育館、教室	参加者数	登録児童数	57人
参加対象	1～6学年		1日平均参加者数	42人
連携団体	公民館、地域学校協働本部			
プログラム例	科学実験教室、生物観察教室等			
特徴的な活動内容と成果	<p>放課後の小学校を安心・安全な子どもの活動の拠点とし、地域の方々の協力によりスポーツ・文化活動、異学年交流等の取り組みを実践している。</p> <p>地域で組織した実行委員会が企画・運営しているため、多くの地域の協力を得ることができ、子どもたちに多様な活動を提供できた。</p>			



生物観察教室～プールの水を顕微鏡で見よう～



自由遊び～ドッチビー～

日高市基本情報

運営委員会名	放課後子ども教室代表者会議		
構成役職 (合計15名)	地域学校協働推進員、PTA、スポ少、学校お応援団、公民館企画委員、保護者		
検討内容	・放課後子ども教室の活動内容について		
放課後子供教室 実施数	6教室 児童クラブとの連携情報 一体型 5教室 連携型 1教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 13箇所		
対象学校区	1校	平均開催日数	5日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	2人
登録児童数	57人	ボランティア数	6人
平均参加児童数	42人	1日当たりの平均スタッフ数	5人/教室

放課後子供教室・西部地区

ふじみ野市・駒西小学校放課後子ども教室				
活動場所	教室、校庭、体育館	参加者数	登録児童数	15人
参加対象	1～6学年		1日平均参加者数	13人
連携団体	文京学院大学			
プログラム例	宿題、外遊び、体育館遊び、季節の工作			
特徴的な活動内容と成果	<p>本教室は、放課後の子どもたちの安心安全な居場所づくりと、地域住民との交流の機会の提供を目的として、週に1回活動を行っている。令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から1学期・2学期の通常開催は中止とし、2学期には各校1回イベントを実施した。なお、3学期は通常通り週に1回の開催を予定している。</p> <p>本教室の特徴的な活動としては、市内にある文京学院大学との連携である。学生に大学の授業内で企画を検討してもらい、2学期に開催したイベントで実際に取り組むことで、児童との交流も行った。</p> <p>また、令和3年度より、同じく学生が授業内で作成した動画を、市内小学生に対しYouTubeの限定公開で提供する取組も行っている。</p> <p>以上より、経験豊富な地域の指導員と、新たな視点を持った大学生が連携することで、児童にとって日常において経験できない幅広い活動を提供することができた。</p>			



〔体育館遊び（宝さがし）〕



〔体育館遊び（オセロゲーム）〕

ふじみ野市 基本情報			
運営委員会名	ふじみ野市放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計11名)	小学校長1名、PTA連合会1名、放課後児童クラブ2名、自治組織連合会2名、民生委員・児童委員協議会1名、放課後子ども教室指導員1名、学識経験者1名、ふじみ野市職員2名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画の策定 ・事業の検証及び評価 ・次年度の活動予定 		
放課後子供教室実施数	13教室 児童クラブとの連携情報 一体型 13教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 29箇所		
対象学校区	13校	平均開催日数	9日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	13人
登録児童数	221人	ボランティア数	25人
平均参加児童数	20人/教室	1日当たりの平均スタッフ数	4人/教室

放課後子供教室・西部地区

毛呂山町・放課後学習教室

活動場所	各小学校の余裕教室	参加者数	登録児童数	各学校約30人
参加対象	3・4学年		1日平均参加者数	各学校約28人
連携団体	近隣大学			
プログラム例	学校の宿題、放課後学習教室のプリント、百ます計算 等			
特徴的な活動内容と成果	<p>毛呂山町の放課後学習教室は、児童の安心安全な居場所作りや学習習慣の定着を目的に実施しています。また、地域の方にコーディネーターや学習サポーターとして活躍していただき、地域ぐるみで毛呂山の子どもを育てる「地域学校協働活動」の一貫としても重要な役割を担っています。</p> <p>活動内容は主に学校の宿題や放課後学習教室用のプリントで、個々の習熟度やペースに合わせて、スタッフが採点や指導を行っています。また、百ます計算などを取り入れ、計算力の向上に努めています。最初はマスが埋まらない子どもも、3学期には正解率・スピードともに上昇します。</p> <p>学校の宿題を終えて帰宅できることが子どもたちは嬉しいようで、保護者からも好評です。放課後学習教室がある日は、家庭での過ごし方や家族間のコミュニケーションも良好だというアンケート結果も出ています。</p>			



〔百ます計算に取り組む児童〕



〔グループ学習の様子〕

毛呂山町基本情報

運営委員会名	毛呂山町放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計14名)	社会教育委員2名 各小学校教頭4名 PTA会長1名 学童保育の会1名 各教室コーディネーター4名 子ども課職員1名、学校教育課職員1名 (事務局)生涯学習課		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画の策定 ・事業の評価、検証 		
放課後子供教室 実施数	4教室 児童クラブとの連携情報 一体型 3教室 連携型 1教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 4箇所		
対象学校区	4校	平均開催日数	28日
主な対象学年	3、4学年	コーディネーター数	4人
登録児童数	101人	ボランティア数	30人
平均参加児童数	93人	1日当たりの平均スタッフ数	7人/教室

放課後子供教室・西部地区

滑川町・放課後子供教室

活動場所	馬場集会所、福田小学校 (図工室、 体育館、校庭)	参加者数	登録児童数	26人
参加対象	1、2学年		1日平均 参加者数	20人
連携団体	—			
プログラム例	地域ボランティアとの交流、工作、郷土かるた他			
特徴的な活動 内容と成果	<p>本教室では、子供達が放課後を安心・安全に過ごす居場所を提供するため、遊び・学習・体験・交流等の多様な活動を実施している。</p> <p>福田小学校を拠点として、敷地内にある学童クラブに隣接した地域の集会所を主な活動場所として、週に一度、火曜日に活動している。月に平均2回の割合で、工作、昔遊び等の活動を通して、地域ボランティアとの交流を行い、子供達と地域の方々とのふれあいを進めている。</p> <p>夏休みには、特別開催として、1年生から6年生を対象として地域の方や中学生ボランティアと一緒に「竹でみずでっぽう」を作成し、昔からの遊びを学ぶと共に他学年・地域の方々との交流を行うことができた。</p>			



〔パンジーを植えよう〕



〔郷土かるた〕

滑川町 基本情報

運営委員会名	放課後子供教室運営委員会		
構成役職 (合計5名)	コーディネーター1名、小学校校長1名、学童保育関係者、指導主事1名、PTA会長1名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画の策定 ・事業の検証及び評価 ・次年度の活動予定 		
放課後子供教室 実施数	1教室 児童クラブとの連携情報 一体型 1教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 1箇所		
対象学校区	1校	平均開催日数	32日
主な対象学年	1～2学年	コーディネーター数	1人
登録児童数	26人	ボランティア数	16人
平均参加児童数	20人	1日当たりの 平均スタッフ数	3人/教室

放課後子供教室・西部地区

嵐山町・放課後子供教室スイミー

活動場所	嵐山町ふれあい交流センター	参加者数	登録児童数	49人
参加対象	1～6学年		1日平均参加者数	19人
連携団体	大妻嵐山中学校・高等学校、子ども理科教室・東松山 他			
プログラム例	通常活動(自由遊び、図書の読み聞かせ等) 通常活動(科学教室、着付けとマナー教室、芋ほり体験 他)			
特徴的な活動内容と成果	<p>嵐山町の放課後子供教室スイミーでは、平日放課後の通常活動と休日や夏季休暇期間を活用した特別活動を実施している。</p> <p>町内全ての小学生を参加対象としているため、他校の児童や異なる学年児童などとの交流を図ることができる。</p> <p>通常活動では、自由遊びの他、町立図書館の司書による図書の読み聞かせを行うなど、社会性も育むことができる内容としている。</p> <p>特別活動では、科学の「ふしぎ」を学んだり着付けの仕方やマナーを学ぶなど、学校生活では体験できない活動をさせることにより、将来への新たな可能性を引き出すことができる。</p>			

嵐山町基本情報

運営委員会名	嵐山町交流センター運営協議会		
構成役職 (合計10名)	地域団体関係者 1名 ボランティア団体関係者 1名 学校教育の関係者 1名 社会教育の関係者等 7名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・運営状況、活動内容について ・実態把握について 		
放課後子供教室実施数	1教室 児童クラブとの連携情報 一体型 0教室 連携型 1教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 4箇所		
対象学校区	3校	平均開催日数	30日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	1人
登録児童数	49人	ボランティア数	3人
平均参加児童数	19人	1日当たりの平均スタッフ数	3人/教室



〔科学教室〕



〔芋ほり体験〕

放課後子供教室・西部地区

小川町・こたけルーム

活動場所	専用教室・多目的室・体育館・校庭等	参加者数	登録児童数	22人
参加対象	1～6学年		1日平均参加者数	21人
連携団体	おり紙協会・琴サークル 等			
プログラム例	宿題、外遊び、わくわく天文教室、人権DVD視聴、ジョイリズム 等			
特徴的な活動内容と成果	<p>当教室は、令和3年10月6日、小川町立竹沢小学校内に開設され2年目を迎えた教室です。令和4年度、登録児童数は22名と町内5教室の中では一番少人数の教室ですが、全校児童数と比べた入室児童の割合は32%と非常に高い割合を誇っています。</p> <p>「特別の活動」として、昨年度「わくわく天文教室」を実施しました。近隣在住のアマチュア天文家の方をお招きし、望遠鏡をのぞいたり、美しい星や宇宙のスライドを観たりしました。最後の質問コーナーでは、入室児童からたくさんの質問が出て、子供たちの興味・関心の高まりをスタッフ一同実感しました。</p> <p>また、今年度初めて「ジョイリズム」の取組を行いました。これは、子供たち一人一人が、ボンゴ、コンガ、ウッドブロックなど、お気に入りの打楽器を持ち、リズムや動きに合わせて楽しく打ち鳴らす取組です。スタッフの指導により、非常に楽しく、充実した時間を過ごし、音楽の大切な要素であるリズムの育成においても効果的でした。</p> <p>放課後子供教室の目指す「安全・安心・よりよい居場所づくり」における豊かな体験や仲間づくりができました。</p>			



〔わくわく天文教室〕



〔ジョイリズム〕

小川町基本情報

運営委員会名	小川町放課後子供教室運営委員会		
構成役職 (合計22名)	区長会1名、老人会1名、PTA3名、民生委員1名、学童クラブ1名、校長会5名、社会教育委員1名、公民館審議会委員1名、学識経験者2名、行政1名、コーディネーター5名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画の検証と評価 ・各教室の視察 ・諸課題への指導、助言等 		
放課後子供教室実施数	5教室 児童クラブとの連携情報 一体型 3教室 連携型 2教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 6箇所		
対象学校区	5校	平均開催日数	26日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	5人
登録児童数	201人	ボランティア数	40人
平均参加児童数	190人	1日当たりの平均スタッフ数	12人/教室

放課後子供教室・西部地区

川島町・中山っ子くらぶ

活動場所	公民館、体育館、校庭	参加者数	登録児童数	31人
参加対象	1～6学年		1日平均参加者数	28人
連携団体	各種地域団体、公民館、小学校、見学施設			
プログラム例	グラウンドゴルフ、工作、施設見学 等			
特徴的な活動内容と成果	<p>地域で精力的に活動されている方が、放課後子供教室のコーディネーターやクラブリーダーとして活躍しており、地域や公民館で活動する様々な団体と連携をとりながら活動している。今年度もコロナ禍の影響があり、感染予防に十分に配慮した中で、実施回数や、活動内容を限定した中で活動を行った。その様な状況下であったが、地域の方々のサポートを頂きながら、日常生活では経験することの難しい活動や、施設見学などをおこなった。その結果、子ども達も地域の中に溶け込み、活動外でも顔を合わせると挨拶を交わすようになるなど良好な関係が築けている。</p>			



〔グラウンドゴルフを楽しもう〕



〔集合写真〕

川島町基本情報

運営委員会名	川島町地域子ども教室実行委員会		
構成役職 (合計12名)	川島町教育委員会教育長、放課後子供教室コーディネーター5名、川島町公民館連絡協議会会長、副会長、社会教育指導員、生涯学習課長、生涯学習課職員		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子供教室の運営について ・放課後子供教室、放課後児童クラブの連携について 		
放課後子供教室実施数	4教室 児童クラブとの連携情報 一体型 1教室 連携型 3教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 4箇所		
対象学校区	4校	平均開催日数	10日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	5人
登録児童数	96人	ボランティア数	100人
平均参加児童数	80人	1日当たりの平均スタッフ数	10人/教室

放課後子供教室・西部地区

吉見町・南小放課後子ども教室

活動場所	南公民館	参加者数	登録児童数	14人
参加対象	1～6学年		1日平均参加者数	11人
連携団体	公民館、社会教育関係団体			
プログラム例	自主学習、自主活動、工作、室内ゲーム 等			
特徴的な活動内容と成果	<p>田園風景の広がる、自然に囲まれた中で、児童に農業への関心をもってもらうためにかかしについて学ぶとともに作製を行っている。二日に渡り作製に取り組み、個性豊かなかかしを完成させ農家の方に許可を頂いて、収穫前の田にかかしを設置している。</p> <p>和やかな雰囲気の中で活動が行われ、その中で、共に「認め合い、語り合い、学び合う」姿が見られる。毎回の自主学習への積極的な取り組みは、家庭学習の習慣づくりを後押しする力になっている。</p> <p>外出しての遊びが減り、一人遊びが多い傾向にある子どもたちにとって、学年や通学班の異なる児童との交流、多様な体験ができる放課後子ども教室は、保護者から高い評価を得ている。</p>			



〔かかしの完成〕



〔かかしの設置〕

吉見町基本情報

運営委員会名	吉見町放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計12名)	教育委員(1名)、社会教育委員(1名)、放課後子ども教室実施校の校長(2名)、放課後子ども教室実施校のPTA会長(2名)、放課後児童クラブ関係者(2名)、社会教育指導員、子育て支援課長、教育総務課長、生涯学習課長		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室の実施状況について ・アンケート結果について ・成果と課題について 		
放課後子供教室実施数	2教室 児童クラブとの連携情報 一体型 0教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 2箇所		
対象学校区	2校	平均開催日数	53日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	1人
登録児童数	43人	ボランティア数	14人
平均参加児童数	31人	1日当たりの平均スタッフ数	3人/教室

放課後子供教室・西部地区

ときがわ町・萩ヶ丘いきいき教室

活動場所	萩ヶ丘小学校教室、校庭	参加者数	登録児童数	28人
参加対象	1～6学年		1日平均参加者数	28人
連携団体	萩ヶ丘小学校			
プログラム例	宿題のサポート、校内での遊び			
特徴的な活動内容と成果	<p>給食のある日の放課後における見守りとして、宿題のサポートを始め教室や校庭での遊びを行っている。</p> <p>昨年度に引き続き新型コロナウイルス対策のもと活動を行った。</p> <p>また、夏季においては気温が高い日が続いたため、熱中症対策として熱中症計を用いて気温、湿度を常に確認し、屋外での活動が危険と判断された場合には適宜活動場所を屋内やエアコンの設置された部屋に変更して活動を継続した。</p>			



〔屋外での遊び①〕



〔屋外での遊び②〕

ときがわ町基本情報

運営委員会名	萩ヶ丘いきいき教室打ち合わせ会		
構成役職 (合計10名)	小学校長、小学校教頭、萩ヶ丘いきいき教室指導員(6名のうち1名放課後児童クラブ指導員兼務)、生涯学習課長、生涯学習課担当者		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・萩ヶ丘いきいき教室の活動について (参加児童下校ルールの検討 熱中症対策 等) ・その他運営状況の共有 		
放課後子供教室 実施数	1教室 児童クラブとの連携情報 一体型 0教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 3箇所		
対象学校区	1校	平均開催日数	190日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	1人
登録児童数	28人	ボランティア数	5人
平均参加児童数	28人	1日当たりの平均スタッフ数	2人/教室

放課後子供教室・西部地区

東秩父村・放課後子ども教室

活動場所	槻川小学校	参加者数	登録児童数	67人
参加対象	1～6学年		1日平均参加者数	32人
連携団体	和紙の子児童クラブ（学童）			
プログラム例	うちわ作り、和太鼓体験、異文化遊び体験、しおり作り 等			
特徴的な活動内容と成果	<p>本教室は、平日放課後の子供たちの安心・安全な居場所づくりはもちろんであるが、特に「様々な体験」に特化し、自主性・協調性の育成を目指している。</p> <p>令和3年度から実施をスタートしており、まだ2年目。まだ年間での実施回数は5回と少ないが、1回の実施に力をいれており「遊び」よりも「学び」「体験」といったプログラムに特化。児童や保護者からも評判がよく、参加率も非常に高い。家庭でのコミュニケーションが増えたことなどで好評を得ている。</p> <p>また、参加申込み用紙にて「当日の保護者の協力可否（ボランティア）」の欄も作成し、事務局の負担を軽減することにも成功。</p>			



〔スタンドグラスうちわ工作体験〕



〔鬼太鼓座によるわだいこ体験〕

東秩父村 基本情報

運営委員会名	放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計10名)	教育委員1名、小学校教頭1名、小学校PTA会長1名、民生委員・児童委員1名、和紙の子児童クラブ会長1名、和紙の子児童クラブ支援員1名、スクールガードリーダー1名、住民福祉課課長1名、教育委員会事務局2名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画の策定 ・事業の検証及び評価 ・プログラムの企画 ・次年度の活動予定 		
放課後子供教室実施数	5教室 児童クラブとの連携情報 一体型 0教室 連携型 5教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 1箇所		
対象学校区	1校	平均開催日数	5日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	0人
登録児童数	67人	ボランティア数	4人
平均参加児童数	32人	1日当たりの平均スタッフ数	3人/教室

放課後子供教室・北部地区

熊谷市・妻沼小放課後子供教室 (めぬまっ子スクール)

活動場所	教室、体育館、校庭	参加者数	登録児童数	274人
参加対象	1～6学年		1日平均参加者数	60人
連携団体	学校応援団（「おやじの会」）、PTA、消防署			
プログラム例	夏祭り、秋祭り、防災キャンプ			
特徴的な活動内容と成果	<p>防災キャンプ 10月29日（土）～10月30日（日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災キャンプでは、76名の参加があった。1日目はカレー作りやキャンプファイヤー、防犯教室、防犯パトロールを行った。火の怖さを学ぶとともに火の恩恵についても感じることもできた。2日目は、隣接する妻沼聖天山を訪問し、参拝した。朝の冷たい空気の中で、凜とたたずむわが町が誇る建物の魅力にふれることができた。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、対象学年を減らしたり、内容を検討したりして取り組んだ。 ・高学年から低学年まで楽しめるように過去に好評だった食べ物を取り扱う活動内容を充実させた。 ・わが町の誇る建物や食材を活動に織り込み、子供たちが地元のよさを感じられることを意識した。 			



〔カレー作り〕



〔防犯教室〕

熊谷市基本情報

運営委員会名	熊谷市放課後子供教室運営委員会		
構成役職 (合計16名)	熊谷市PTA連合会1名、熊谷市子ども会育成連絡協議会1名、熊谷市青少年健全育成市民会議1名、熊谷市社会福祉協議会1名、熊谷市自治会連合会1名、熊谷青年会議所1名、熊谷市校長会2名、熊谷市公民館連合会1名、(公財)熊谷市スポーツ協会1名、熊谷市文化連合1名、子どもセンターボランティア代表者1名、熊谷市社会教育委員会議1名、校区代表1名、社会教育課長1名、社会教育課指導主事1名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子供教室の実態把握について ・放課後子供教室ボランティア研修会の内容について 		
放課後子供教室 実施数	29教室 児童クラブとの連携情報 一体型 23教室 連携型 5教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 51箇所		
対象学校区	29校	平均開催日数	21日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	29人
登録児童数	8826人	ボランティア数	429人
平均参加児童数	35人	1日当たりの平均スタッフ数	8人/教室

放課後子供教室・北部地区

本庄市・学ぼう舎（児玉公民館）

活動場所	公民館	参加者数	登録児童数	16人
参加対象	1～6学年		1日平均参加者数	13人
連携団体	公民館利用団体、公民館事業担当講師、社会福祉協議会 等			
プログラム例	宿題、工作、音楽鑑賞 等			
特徴的な活動内容と成果	<p>本教室は、児童に安全な居場所を設け、自主学习、体験学習又は文化活動により児童の自主性及び創造性を育む事を目的に、月2回、土曜日に実施している。</p> <p>地域の方を支援者として、近隣の施設や市内の団体・人材とも連携しながら、自主学习の支援や体験学習等を活動内容としている。特に体験学習は会場ごとに各々企画・実施しており、令和4年度は「音楽鑑賞会」「木工工作」「絵はがき教室」などを行った。</p> <p>保護者からは、宿題の分からない所を教えてもらえること、勉強以外にも沢山の活動ができること、他学年・他学校の児童や地域の方との関わりが持てることなどで好評を得ている。</p>			



〔学ぼう舎〕



〔自主学习支援〕

本庄市基本情報

運営委員会名	本庄市小学生学習支援事業運営委員会		
構成役職 (合計8名)	コーディネーター6名、生涯学習課職員2名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画の策定 ・事業内容の報告 ・課題等の検討 ・安全管理の共有 ・次年度の活動予定の検討 		
放課後子供教室 実施数	6教室 児童クラブとの連携情報 一体型 0教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 22箇所		
対象学校区	6校	平均開催日数	15日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	6人
登録児童数	87人	ボランティア数	27人
平均参加児童数	80人	1日当たりの平均スタッフ数	5人/教室

放課後子供教室・北部地区

深谷市・深谷小平日放課後子ども教室

活動場所	図書室、体育館	参加者数	登録児童数	24人
参加対象	3～6学年		1日平均参加者数	23人
連携団体	—			
プログラム例	漢字検定にチャレンジ、書き初め教室			
特徴的な活動内容と成果	<p>本教室は、平日放課後の児童の安心・安全な居場所づくりと様々な体験や幅広い年代の方々との交流を通して、自主性・社会性のより一層の向上を目指している。</p> <p>放課後児童クラブとは、児童の安全確保について連携を図っており、教室終了後スタッフが放課後児童クラブまで引き渡している。引き渡しの方法等については、放課後児童クラブ職員との事前打合せ会にて決めている。</p> <p>保護者からは、放課後の時間をとても有意義に過ごせた、普段できないことを体験できた、地域の方との交流もできて来年も参加したいなどの声があった。</p>			



〔漢字検定にチャレンジ〕



〔書きぞめ教室〕

深谷市基本情報

運営委員会名	平日放課後子ども教室打合せ		
構成役職 (合計9名)	平日放課後子ども教室マネージャー：1名 学校長：1名 学校担当（教頭）：1名 放課後児童クラブ職員：2名 地域学校協働活動推進員：1名 生涯学習スポーツ振興課職員：3名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室の実施方法 ・実施日程及びプログラムの内容 ・児童の安全管理対策 (新型コロナウイルス感染症対策含む) 		
放課後子供教室 実施数	3教室 児童クラブとの連携情報 一体型 3教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 32箇所		
対象学校区	3校	平均開催日数	10日
主な対象学年	3～6学年	コーディネーター数	3人
登録児童数	6773人	ボランティア数	14人
平均参加児童数	51人	1日当たりの平均スタッフ数	5人/教室

放課後子供教室・北部地区

横瀬町・放課後等子ども教室

活動場所	図書室・体育館・校庭	参加者数	登録児童数	50人
参加対象	1・2学年		1日平均参加者数	40人
連携団体	学校応援団			
プログラム例	宿題、ボール遊び、福祉施設へのプレゼント作り、なわとび教室 等			
特徴的な活動内容と成果	<p>本教室は小学校の図書室を主な活動場所とし、放課後や長期休業中における児童の安全で安心な場所を確保するとともに、様々な体験活動を通して豊かな人間性を育てることを目的としている。</p> <p>新型コロナウイルスの影響で多くの制限がある中、三密や手洗い消毒、検温などを徹底しながら、創意工夫し活動している。</p> <p>今年度は、新たに福祉施設へのプレゼント作りに取り組み、四季を表現した壁飾りは、お年寄りに好評で大勢の方から喜びの声をいただいた。また、放課後子ども教室の宿題や自学の時間に一人一台端末を使い、各自が楽しく学習を進めることができた。</p>			



〔プレゼントの壁飾り〕



〔一人一台端末を使って学習〕

横瀬町基本情報

運営委員会名	放課後等子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計10名)	横瀬小学校長、教頭、放課後子ども教室指導員6名、横瀬町教育委員会担当者2名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後等子ども教室の活動内容について（コロナ禍での遊びと学習） ・運営及び活動内容の成果と課題について 		
放課後子供教室実施数	1教室 児童クラブとの連携情報 一体型 0教室 連携型 1教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 1箇所		
対象学校区	1校	平均開催日数	233日
主な対象学年	1・2学年	コーディネーター数	1人
登録児童数	50人	ボランティア数	70人
平均参加児童数	40人	1日当たりの平均スタッフ数	4人/教室

放課後子供教室・北部地区

長瀬町・はつらつルーム（長瀬第一小）

活動場所	教室、体育館	参加者数	登録児童数	23人
参加対象	1～3学年		1日平均参加者数	20人
連携団体	町民団体			
プログラム例	宿題、読書、工作、企画行事（軽スポーツ体験）			
特徴的な活動内容と成果	<p>本教室は、放課後の子供たちの安全な居場所を確保するとともに、多様な学習・体験活動を通して豊かな人間性の育成を目指している。企画行事は、小学校の協力をいただきながら、体育館を利用してドッチビー体験を行った。町職員の指導のもと、遊びを通してルールや技能を学び、異学年の交流を深めた。</p> <p>教育活動推進員は、児童の健康状態を把握しつつ、宿題や個別の学習活動を中心に指導にあたった。また、通常の活動に加え、身近にある材料を使用して工作に取り組む中で、一人ひとりの豊かな想像力を育む機会が増えた。</p>			



〔宿題・学習の個別支援〕



〔ドッチビー体験〕

長瀬町基本情報

運営委員会名	放課後子供教室運営委員会		
構成役職 (合計16名)	放課後子供教室代表2名、児童クラブ代表2名、小学校長2名、PTA代表2名、児童クラブ室担当、健康福祉課長、教育長、教育次長、指導主事、事務局（教育総務担当主幹、教育総務担当主査、学校教育指導員）		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子供教室の基本構想 ・活動内容について 		
放課後子供教室 実施数	2教室 児童クラブとの連携情報 一体型 0教室 連携型 2教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 3箇所		
対象学校区	2校	平均開催日数	68日
主な対象学年	1～3学年	コーディネーター数	1人
登録児童数	33人	ボランティア数	5人
平均参加児童数	28人	1日当たりの平均スタッフ数	2人/教室

放課後子供教室・北部地区

小鹿野町・いきいき教室（三田川小学校）				
活動場所	教室・校庭・体育館等	参加者数	登録児童数	6人
参加対象	1学年		1日平均参加者数	6人
連携団体	民生委員・児童委員、秩父音頭サークル、地域ボランティア			
プログラム例	おもちゃづくり、地域の伝統文化体験など			
特徴的な活動内容と成果	<p>○創意工夫に富んだ活動を毎回実施していただき、児童は楽しみながら体験・経験を重ね、知識や技能が身に付いている。</p> <p>○放課後子供教室の実施により、1年生が他学年の児童と集団下校することができ、下校時における安全対策の一環となっている。</p> <p>○地域の祭りで飾る「あんどん」づくりや運動会で行う「秩父音頭」の指導、小正月の「まゆ玉」づくりなど、地域の伝統的な行事にも関わることができ、地域ならではの文化を守り、引き継ぐことができている。</p> <p>○児童とボランティアの方々が交流することで、幅広く大人と関わる機会となっている。また、地域の方に、学校を知っていただくよい機会となっている。指導者の方からも「学校の様子がよくわかる」「子どもの笑顔を見ると元気になる」との声もいただいている。</p>			



〔まゆ玉づくり〕



〔秩父音頭の指導〕

小鹿野町基本情報			
運営委員会名	放課後子供教室運営委員会		
構成役職 (合計 11名)	小学校長（1名） 各教室コーディネーター（4名） 各学校担当者（4名） 教育委員会職員（2名）		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校の事業計画について ・活動内容についての情報共有 ・事業内容の報告 ・次年度の活動予定について 		
放課後子供教室 実施数	4教室 児童クラブとの連携情報 一体型 1教室 連携型 3教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 4箇所		
対象学校区	4校	平均開催日数	31日
主な対象学年	1学年	コーディネーター数	6人
登録児童数	55人	ボランティア数	67人
平均参加児童数	5.5人	1日当たりの平均スタッフ数	4人/教室

放課後子供教室・北部地区

上里町・長幡のびっ子教室

活動場所	長幡小学校	参加者数	登録児童数	18人
参加対象	1～3学年		1日平均参加者数	17人
連携団体	—			
プログラム例	宿題・読書・工作・体育館遊び 等			
特徴的な活動内容と成果	<p>上里町放課後子供教室（長幡小学校のびっこ教室）は、放課後の空き教室等を利用し、週2日間、子供達が放課後に、異年齢の仲間と安全かつ安心して学習や体験活動、様々な遊び等を通して、異年齢交流を図れる居場所づくりを実施している。</p> <p>令和4年度は感染症の影響もあり、企画物の減少はあったが、対策を講じながら実施することができた。</p> <p>ボランティアには地域の方や、退職教員にご協力いただいて開催している。時期に応じて、工作等さまざまな事業をサポートが提案してくださり、通年を通して子供たちは飽きずに楽しんでいる。毎回前半に学習タイムを30分間設けることにより、のびっ子教室にて宿題を終わらせる子が多くおり、保護者からも家で宿題をさせる必要がないので助かっているという声が上がっている。</p> <p>子供たちにとっては異年齢の子たちと遊べる数少ない機会となり、サポーターにとっても地域の子供と触れ合える機会となり、双方にとって良い効果が出ている。</p>			



〔体育館遊び1〕



〔体育館遊び2〕

上里町基本情報

運営委員会名	上里町放課後子供教室運営委員会		
構成役職 (合計20名)	実施校校長5名、公民館代表1名、PTA1名、子ども会育成会1名、スポーツ少年団1名、ボランティア団体1名、関係課室長4名、実施校コーディネーター4名、学識経験者2名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・年間事業計画検討 ・事業成果検討 		
放課後子供教室実施数	6教室 児童クラブとの連携情報 一体型 0教室 連携型 1教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 5箇所		
対象学校区	5校	平均開催日数	35日
主な対象学年	1～3学年	コーディネーター数	11人
登録児童数	200人	ボランティア数	40人
平均参加児童数	15人	1日当たりの平均スタッフ数	6人/教室

放課後子供教室・東部地区

行田市・北小わくわくクラブ

活動場所	いちようルーム・体育館	参加者数	登録児童数	39人
参加対象	1～3学年		1日平均参加者数	38人
連携団体	NPO法人 行田市民大学活動センター			
プログラム例	宿題・昔遊び・モルック・工作・ミニ運動会・行田を知ろう 等			
特徴的な活動内容と成果	<p>本教室は、放課後、小学校の余裕教室等を活用して、子どもたちの安全・安心な居場所を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに遊び、ものづくり、スポーツ、体験活動、地域住民との交流活動等の取組を実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに成長することを目指している。</p> <p>コロナ禍ではあるが、今年度も感染防止対策を徹底して、多岐に渡る活動を実施しているところである。</p> <p>参加している児童は、普段なかなか体験できない活動に積極的に取り組んでおり、コーディネーターを中心に指導スタッフが一人一人の子どもたちに寄り添いながら子どもたちの活動を支援している。子どもたちは活動終了後、成就感を味わい笑顔いっぱい帰宅の途についている。</p> <p>成果としては、多くの体験活動及び異学年交流をとおして、子どもたちの豊かな心の育成につながっている。</p>			



〔行田の昔話〕



〔箏の体験〕

行田市基本情報

運営委員会名	行田市放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計18名)	各教室コーディネーター11名・小学校長2名・PTA代表1名・社会教育関係者2名・自治会長1名・生涯学習スポーツ課長1名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各教室の運営状況 ・活動内容についての情報共有 ・安全管理及び課題解決のための協議 等 		
放課後子供教室実施数	11教室 児童クラブとの連携情報 一体型 10教室 連携型 1教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 17箇所		
対象学校区	11校	平均開催日数	15日
主な対象学年	1～3学年	コーディネーター数	11人
登録児童数	461人	ボランティア数	115人
平均参加児童数	301人	1日当たりの平均スタッフ数	8人/教室

放課後子供教室・東部地区

春日部市・武里小学校放課後子ども教室 「わかたけっこひろば」

活動場所	月…校庭、教室、体育館 土…武里地区公民館	参加者数	登録児童数	82人
参加対象	1～6学年		1日平均参加者数	43人
連携団体	武里地区公民館、文化団体			
プログラム例	月…宿題、自主学習、自由遊び等 土…フラダンス、楽器、チアダンス、木工・手芸、ドッジビー等 夏休み特別教室…科学・工作教室			
特徴的な活動内容と成果	<p>本教室では、月曜日の放課後に、学校の空き教室や校庭を活用して学習見守りや自由遊びの場として実施される「げつようひろば」と、土曜日に近隣の武里地区公民館で、公民館を利用する文化団体や地域ボランティアを講師に迎えて、ダンスや楽器等の講座が1年を通して実施される「どようひろば」、夏休み期間中に1回、公民館で実施する「夏休み特別教室」という3種類を実施している。</p> <p>教室の実施にあたっては、手指消毒や換気等の基本的な感染防止対策に加え、使用する教室を増やして少人数での活動とすることで、児童もスタッフも安心して参加できる環境の整備に努めている。</p> <p>地域ボランティアが積極的に参加していることで、児童が地域の大人と交流する場となっているだけでなく、児童の活動を通じて、地域と学校、保護者がつながる機会としても機能している。</p>			



〔どようひろば-チアダンス〕



〔夏休み特別教室-押し花〕

春日部市基本情報

運営委員会名	春日部市放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計12名)	小学校長会代表、社会教育委員、自治会連合会代表、青少年育成春日部市民会議代表、生涯学習市民推進員、市PTA連合会代表、放課後子ども教室代表2名、共栄大学非常勤講師、保育課主幹、指導課長、中央公民館長		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度放課後子ども教室の実施について 春日部市放課後子ども教室推進事業の課題について 		
放課後子供教室実施数	19教室 児童クラブとの連携情報 一体型 19教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 23箇所		
対象学校区	19校	平均開催日数	4日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	24人
登録児童数	1239人	ボランティア数	230人
平均参加児童数	689人	1日当たりの平均スタッフ数	15人/教室

放課後子供教室・東部地区

羽生市・手子林小学校放課後子ども教室

活動場所	教室、体育館	参加者数	登録児童数	6人
参加対象	4～6学年		1日平均参加者数	6人
連携団体	—			
プログラム例	宿題、自主学习、バドミントン、工作、講座、等			
特徴的な活動内容と成果	<p>昨年度から、活動日数・募集人数を例年より削減しての開催となり、運営スタッフや参加児童への検温、教室内の消毒等新型コロナウイルス感染症対策を行いながら活動している。</p> <p>前半に学習の時間として、学習指導・自主学习を行い、後半にスポーツ活動として、体育館でバドミントン・鬼ごっこ等を行っている。また、年に数回、特別活動として外部より講師を招き、普段の学校生活とは一味違った体験プログラムを提供している。今年度はグラウンドゴルフ・エコクラフト教室、救命講習を実施。「来年も実施してほしい。」と声がるほど参加児童から好評を得ることができた。</p> <p>また、保護者からは、児童に対して真摯に向き合ってくれること、家庭内でも話題に上がることから、運営スタッフへの信頼が厚い。</p>			



〔グラウンドゴルフ〕



〔エコクラフト教室〕

羽生市（町）基本情報

運営委員会名	放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計44名)	実施校区の学校代表者6名、放課後児童クラブ関係者5名、実施校区住民の代表者6名、PTAの代表者6名、社会教育関係者6名、児童福祉の代表者3名、教育長推薦12名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の活動報告について ・来年度の募集について ・来年度の活動内容について 		
放課後子供教室 実施数	6教室 児童クラブとの連携情報 一体型 4教室 連携型 1教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 10箇所		
対象校区	6校	平均開催日数	15日
主な対象学年	4～6学年	コーディネーター数	6人
登録児童数	65人	ボランティア数	29人
平均参加児童数	56人	1日当たりの平均スタッフ数	3人/教室

放課後子供教室・東部地区

久喜市・栗くりゆうゆうプラザ

活動場所	教室・体育館・校庭	参加者数	登録児童数	167人
参加対象	1～6学年		1日平均参加者数	118人
連携団体	学校応援団、学童保育所、栗橋音頭保存会、食生活改善推進員会			
プログラム例	ダンスをつくろう、ポッチャに挑戦、英語であそぼう			
特徴的な活動内容と成果	<p>私達の教室は“無理なく続けられて、“やってみて良かったと思える”ものにしたと考えています。具体的には、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童には、少しずつ学んでいって出来たときの達成感を感じてほしい。 ・地域サポーターには、参加を通じて、地域の子どものために活動し、貢献することの充実感を感じてほしい。 ・中学生ボランティアには、支援を通じて自身の成長を実感してほしい。 <p>このような思いで活動しています。</p> <p>また、地域の方々の理解をいただき、下校引率や見守りをしていただいております、これが大きな励みとなっています。</p> <p>また学校との連携を深めて新しいアイデアを考案し、実行しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暑さを避けた10月～12月に活動を集中させる。 ・電子黒板や端末などICTを使い講座紹介、募集、応募者集計を行うことで会合を少なくして紙・労力・時間を大きく削減した。 ・土曜日講座を“ホンモノ体験”の場として位置づけて第一線の方々の指導を得る機会にする。 			
	 <p>〔絵を描こう講座〕</p>  <p>〔3年生の書きぞめ教室〕</p>			

久喜市基本情報

運営委員会名	久喜市放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計37名)	社会教育委員1名、市内校長会1名、スポーツ推進委員1名、学童保育運営協議会1名、スポーツ少年団1名、子ども会育成連合会1名、民生委員・主任児童委員協議会1名、レクリエーション協会1名、PTA連合会1名、婦人会連合会1名、青年会議所1名、生涯学習推進者3名、各教室実施委員長21名、行政関係者2名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画の策定 ・新型コロナウイルス感染症対策 ・夏季運営対策 ・けがの予防 ・保険の適用について ・次年度の活動予定 		
放課後子供教室 実施数	21教室 児童クラブとの連携情報 一体型 18教室 連携型 3教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 21箇所		
対象学校区	21校	平均開催日数	14日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	24人
登録児童数	2635人	ボランティア数	2188人
平均参加児童数	110人	1日当たりの平均スタッフ数	20人/教室

放課後子供教室・東部地区

三郷市・いっこひろば

活動場所	教室	参加者数	登録児童数	7人
参加対象	1～6学年		1日平均参加者数	6人
連携団体	PTA関係者、地域住民			
プログラム例	宿題、ハロウィン・クリスマスなど季節に合わせた工作 等			
特徴的な活動内容と成果	<p>いっこひろばは、地域住民の協力を得て、児童が安全・安心に過ごせる体験活動等を行うための場を提供している。</p> <p>毎回30分の宿題タイムの後、体験活動を楽しむプログラムを実施している。体験活動では、ハロウィングッズやスノードーム、クリスマス飾りなど季節に合わせた工作や、昔遊びやレクリエーション等を和やかな雰囲気のもと楽しんだ。</p> <p>児童にとって、年齢の離れた地域のスタッフや他学年の児童と交流する貴重な世代間交流の場を提供することができている。</p>			



〔30分の宿題タイム〕



〔松ぼっくりでクリスマスツリー作り〕

三郷市基本情報

運営委員会名	三郷市放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計10名)	地域住民の代表者1名、社会教育関係者2名、各教室の代表者2名、子育て支援団体の代表者1名、PTA代表者1名、学校教育担当課長1名、子ども支援課長1名、学校教育担当者1名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の運営方法 ・今年度の活動状況 ・次年度の活動予定 		
放課後子供教室実施数	2教室	児童クラブとの連携情報	
	一体型 2教室	連携型 0教室	
	参考：放課後児童クラブ箇所数 19箇所		
対象学校区	2校	平均開催日数	8日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	2人
登録児童数	26人	ボランティア数	10人
平均参加児童数	12人	1日当たりの平均スタッフ数	5人/教室

放課後子供教室・東部地区

蓮田市・「ひらりんきっず／ひらりんすたでい」				
活動場所	教室、校庭、体育館	参加者数	登録児童数	53人
参加対象	2～6学年		1日平均参加者数	32人
連携団体	ひらりんぱっ（平野小学校放課後子供教室スタッフ）			
プログラム例	自由遊び、スポーツ、宿題 等			
特徴的な活動内容と成果	<p>本教室は、子供たちの安心・安全な放課後の居場所づくりを目的に、様々な活動や学習の場づくりを行っている。校庭や体育館での自由遊びを中心とした「ひらりんきっず」と、学習支援を中心とした「ひらりんすたでい」の2つのプログラムを実施している。令和3年度までは新型コロナウイルス感染症の影響で活動を休止していたが、令和4年度10月から活動を再開した。</p> <p>「ひらりんきっず」では、子供たちの主体性を育むため、自分たちで考えて自由に過ごす時間としている。「ひらりんすたでい」では、算数の計算を中心に、苦手意識が克服できるような学習の場づくりを行っている。</p> <p>安心・安全に様々な活動ができる場となっていることから、保護者からは好評を得ており、今年度は特に参加希望者が増加している。</p>			



ひらりんきっずの様子



ひらりんすたでいの様子

蓮田市基本情報			
運営委員会名	蓮田市放課後子供教室推進事業運営委員会 （蓮田市社会教育委員会議）		
構成役職 （合計7名）	学校教育関係者（蓮田市小・中学校長会）、社会教育関係者（蓮田市子ども会育成連絡協議会、ボーイスカウト蓮田第1団、蓮田市スポーツ推進員連絡協議会）、家庭教育関係者（民生委員・児童委員協議会、NPO子育て支援団体）、学識経験者（蓮田市議会議員）		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子供教室の活動内容 ・放課後子供教室の運営体制 ・蓮田市の社会教育事業について 		
放課後子供教室 実施数	2教室 児童クラブとの連携情報 一体型 1教室 連携型 1教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 9箇所		
対象学校区	8校	平均開催日数	15日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	20人
登録児童数	175人	ボランティア数	0人
平均参加児童数	46人	1日当たりの平均スタッフ数	4人/教室

放課後子供教室・東部地区

吉川市・放課後子ども教室

活動場所	三輪野江小学校 ふれあいホール・ 校庭・体育館	参加者数	登録児童数	66人
参加対象	1～6学年		1日平均 参加者数	57人
連携団体	—			
プログラム例	かけっこ教室、ハンドボール教室、にゃんたぶうステージ 等			
特徴的な活動 内容と成果	<p>本教室は、放課後に子どもが安心して活動できる場の確保を図るとともに、「志を持った子どもたちを育てる」という理念の下、スポーツ、工作などの体験型学習、地域住民との交流活動、ICT機器を使用した学習などを、地域や学校などと連携を図りながら次世代を担う子どもの健全育成を支援することを目的としている。</p> <p>また、様々なプログラムを体験するだけではなく、教室開始時に10～15分時間を設け、その時間を児童自ら宿題に取り組むように支援し、自主性を育むようにも図っている。</p>			

吉川市基本情報

運営委員会名	吉川市放課後子ども教室事業運営委員会		
構成役職 (合計7名)	学童保育室関係者(1名)、放課後子ども教室関係者(1名)、社会教育関係者(1名) 三輪野江小学校教頭(1名)、教育委員会職員(2名)、保育幼稚園課(1名)		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間の活動内容について (実施プログラムの説明) ・新型コロナウイルス感染症対策について ・安全確保、保護者迎えの場所の確認について 		
放課後子供教室 実施数	1教室 児童クラブとの連携情報 一体型 1教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 8箇所		
対象学校区	1校	平均開催日数	22日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	1人
登録児童数	66人	ボランティア数	4人
平均参加児童数	57人	1日当たりの 平均スタッフ数	7人/教室



〔かけっこ教室〕



〔にゃんたぶうステージ〕

放課後子供教室・東部地区

白岡市・菁莪小学校放課後子ども教室

活動場所	多目的室、体育館、特別教室	参加者数	登録児童数	47人
参加対象	1～6学年		1日平均参加者数	20人
連携団体	スポーツ推進委員連絡協議会			
プログラム例	マーブリング・ストーンペイント、飛行機大会、校庭で自由遊び、ボッチャ教室、凧揚げ大会、スライムづくり・ちぎり絵・工作 等			
特徴的な活動内容と成果	<p>本教室は、放課後に、子どもたちの安全・安心な居場所を設け、様々な体験・交流活動の機会を提供することを目的とし、実施している。</p> <p>令和4年度は、参加希望者数が多かったため、低学年（1～2年生）と中・高学年（3～6年生）に分け、それぞれ月1回実施しており、プログラムは子ども同士が交流できるものを企画している。</p> <p>また、学童保育所とも連携し、学童保育所から放課後子ども教室に参加する児童の受け入れや引き渡しを行っている。</p> <p>保護者からは、同級生だけでなく異学年の児童たちとの交流や家庭でのコミュニケーションが増えた、普段体験できない経験ができた、地域の方々がしっかり見守ってくれるため安心できるなど、好評を得ている。</p>			



〔校庭での自由遊び（ドッチボール）〕



〔ボッチャ教室〕

白岡市基本情報

運営委員会名	白岡市放課後子ども教室運営会議（白岡市社会教育委員会議）		
構成役職（合計15名）	学校教育関係者2名、社会教育関係者5名、家庭教育関係者4名、学識経験者2名、公募2名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画及び活動プログラムに関すること ・安全管理方策、広報活動方策、人材確保方策に関すること ・事業実施後の検証及び評価等に関すること ・その他事業の運営に関し必要な事項に関すること 		
放課後子供教室実施数	2教室	児童クラブとの連携情報	11箇所
	一体型 1教室		
	連携型 0教室		
	参考：放課後児童クラブ箇所数		11箇所
対象学校区	2校	平均開催日数	10日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	2人
登録児童数	65人	ボランティア数	30人
平均参加児童数	20人	1日当たりの平均スタッフ数	8人/教室

放課後子供教室・東部地区

杉戸町・杉戸第二小学校わくわく教室

活動場所	校内わくわく教室	参加者数	登録児童数	36人
参加対象	1～4学年		1日平均参加者数	18人
連携団体	—			
プログラム例	七夕飾り、写真立て、ハロウィン飾り、クリスマス飾り等の作成			
特徴的な活動内容と成果	<p>本教室は「わくわく教室」の愛称のもと実施している。子供たちの居場所を確保するとともに、地域間交流、異世代間交流の機会を与え、子供たちの安全・安心できる環境づくりを目指している。</p> <p>今年度は、新型コロナウイルスの影響から、参加者を1・4年生と2・3年生の教室に分けて、各18人ずつで合計36名で実施。新型コロナウイルス感染症の対策として、ハサミやマジックなど、道具を使用する場合は、複数で使いまわさないよう、配慮した。</p> <p>なお、参加した児童は、毎回とても楽しく、熱心に取り組む姿が見られた。</p>			



〔七夕飾り作り〕



〔クリスマス飾り作り〕

杉戸町基本情報

運営委員会名	杉戸町放課後子供総合プラン運営委員会		
構成役職 (合計14名)	学校関係者(学校長)3名、放課後子供教室代表6名、放課後児童クラブ関係者1名、地域住民1名、PTA関係者1名、行政関係者2名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子供教室の前年度実施状況 ・本年度実施計画について ・放課後子供教室事業予算について 		
放課後子供教室 実施数	2教室	児童クラブとの連携情報	9箇所
	一体型	2教室	
	連携型	0教室	
対象学校区	2校	平均開催日数	17日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	4人
登録児童数	44人	ボランティア数	20人
平均参加児童数	26人	1日当たりの平均スタッフ数	3人/教室

放課後子供教室・東部地区

松伏町・金杉小学校放課後子ども教室

活動場所	松伏町立金杉小学校	参加者数	登録児童数	25人
参加対象	1～6学年		1日平均参加者数	19人
連携団体	学校応援団、よさこいソーランおどる遊、埼玉土建吉川・松伏支部			
プログラム例	宿題、昔遊び、サツマイモ栽培、彩の国21世紀郷土かるた、まつぶし郷土かるた、スナッグゴルフ、よさこいソーラン踊り、ペットボトルかざぐるまつくり、ドッジビー、たき火、のこぎり挽き体験、			
特徴的な活動内容と成果	<p>本教室は、放課後の児童の安心・安全な活動場所づくりと多様な体験や地域の方々との交流を通して自主性や協調性を育成することを目指し、課業日の月・木曜日を中心に年間60回前後の活動を行っている。学童クラブの児童と共に活動するプログラムも用意し、なかよく楽しく活動している。</p> <p>子どもたちの多様な活動として「たき火」体験をおこなった。校庭から落ち葉や枯れ枝を拾い、マッチを擦って火をおこした。災害時などに活用できる力を付けたいと計画した。初めてマッチを擦る児童もいて良い経験になったと思う。春先から児童が行っていたサツマイモ栽培で育てた芋を、指導員が焼いて児童に持たせ、好評であった。</p> <p>ドッジビーでは学童クラブの児童の参加があり、時にはお迎えに来た保護者も加わって児童と一緒にゲームをするなど盛り上がっている。活動の前後には手指のアルコール消毒を確実にしている。</p>			



学童クラブと一緒にスナッグゴルフ体験



マッチで着火のたき火体験

松伏町基本情報

運営委員会名	金杉小学校放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計9名)	校長、PTA会長、学校応援団代表 学童クラブ本部長、放課後子ども教室指導員、教育文化振興課長、放課後子ども教室コーディネーター		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画の確認 ・新規プログラムの企画、検討、確認 ・事業の検証、評価 ・次年度の活動予定 		
放課後子供教室実施数	1教室	児童クラブとの連携情報	6箇所
	一体型 1教室		
	連携型 0教室		
対象学校区	1校	平均開催日数	60日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	2人
登録児童数	25人	ボランティア数	27人
平均参加児童数	19人	1日当たりの平均スタッフ数	6人/教室